

腹腔鏡下子宮体癌手術 (後腹膜リンパ節郭清を含む)

このような子宮体癌の患者さんはいらっしゃったら、
腹腔鏡下手術の適応かもしれませんので、ご紹介ください。

腹腔鏡下子宮体癌手術の適応

- ①組織型は、子宮体部類内膜癌 類内膜癌グレード1もしくはグレード2
 - ②子宮体がん手術進行期分類(日産婦分類2011、FIGO2008)で、IA期相当
- ※腹腔鏡下手術の長期予後は開腹手術と同等です。

上記の患者さんでも、分娩・手術歴、腫瘍の大きさなども踏まえて、開腹手術をおすすめする場合があります。

腹腔鏡下子宮体癌手術のメリット

- ①低侵襲な鏡視下手術
- ②出血量は少量
- ③入院期間は約7-9日間
- ④術後合併症の低減
- ⑥整容性が保たれる



腹腔鏡手術

開腹手術

腹腔鏡手術担当から一言

長島 克 (術者)

腹腔鏡手術は、低侵襲な手術です。
治療が必要な患者さんがいらっしゃいましたら、
何卒ご相談・ご紹介いただければと存じます。

入院後経過

入院 (手術前日)

- ・説明
- ・おへその掃除
- ・21時以降飲食禁止

手術当日

手術前 (病室)

- ・手術着着用

手術室へ移動

- ・点滴
- ・麻酔開始
- ・手術
- ・排尿用の管が入ります
- ・お腹に管が入ります (お腹の中で出血、リンパ液がないかを確認)

手術後 (病室)

- ・ベット上で安静
- ・手術6時間経過し、看護師が観察した後に水が飲めます

手術後1日目

- ・朝から食事開始

手術後2日目

- ・シャワーに入れます

手術後4日目

- ・排尿用の管を抜きます

手術後5-7日目 退院

- ・お腹の管を抜きます
- ・初回歩行の説明をします
- ・担当医から手術の結果について説明があります

東邦大学医療センター大森病院

〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1

代表Tel: 03-3762-4151, パートナーTel: 03-3762-6616

産婦人科 長島 (masaru.nagashima@med.toho-u.ac.jp) (診察日 水曜午前・午後、土曜午前)

お気軽にご連絡ください!